

令和4年度

長崎大学大学院工学研究科
博士課程（5年一貫制）学生募集要項

グリーンシステム創成科学専攻

令和4年4月入学

推 薦 入 試
一 般 入 試
外 国 人 留 学 生 入 試

令和3年3月

長崎大学大学院工学研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL (095) 819-2491 (直通)

FAX (095) 819-2587

目 次

アドミッション・ポリシー	1
推薦入試	3
一般入試	9
外国人留学生入試	18
ディプロマ・ポリシー	24
カリキュラム・ポリシー	25
教員・研究内容一覧	27
長崎大学大学院工学研究科における入試成績の開示について	28

長崎大学大学院工学研究科博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻
アドミッション・ポリシー

1. 工学研究科の教育理念・目標

（教育理念）

自然と共生し、人類社会の持続的発展に貢献する高度な工学教育研究拠点として、工学の幅広い分野における専門的・学際的知識及び高度専門技術を修得し国際的に活躍できる高度専門技術者・研究者を養成するとともに、先導的・独創的研究の遂行により次世代の革新的科学技術の推進に貢献する。

（目標）

工学の幅広い分野における専門的・学際的知識及び高度専門技術を修得させ、課題探求・問題解決能力及び国際的・先導的な研究開発能力を修得させる。

2. 博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻の教育理念・目標

工学研究科博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻は、地球温暖化等の地球規模のクライシスに対応するため、グリーンエネルギーの発生・有効利用の領域に特化し、領域全体を俯瞰できる高度基礎知識に裏打ちされた先導的研究を展開でき、かつ国際的なアカデミアに貢献できる研究者の養成を教育目標としている。

3. 博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻のアドミッション・ポリシー

グリーンシステム創成科学専攻は、入学者に以下の学力・能力、資質・素養を求めます。

- ・工学の専門的分野（機械、電気・電子、情報、社会基盤関連、化学・材料等）のいずれかで高い基礎学力（学士力）をもつ。
- ・広範な分野にわたるグリーンシステム科学に関する知識を修得しようとする姿勢があつて、それを学ぶ能力がある。
- ・将来、国際的アカデミアで活躍できる研究者になろうとする強い意志があり、それを明確に表明できる。
- ・一人立ちできる研究者に求められる英語コミュニケーション能力、英語論文作成力を在学期間中に修得するための基礎力がある。
- ・国際性ある研究者に必要な、課題発見・探求能力、研究計画・マネジメント能力を在学期間中に修得するための素養と適性が認められる。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

入試区分		求める素質等	工学の専門分野の基礎学力	グリーンシステム科学を学ぶ姿勢と学力	国際的アカデミアで活躍できる研究者になろうとする強い意志	研究者に必要な英語力を修得するための基礎力	国際性ある研究者に育つ素養と適性
推薦入試	学部成績		◎	○		○	○
	口述試験（基礎学力評価、専門知識評価）		◎				
	面接（口述試験を含む）			○			
	口述試験（基礎力評価）					○	
	面接				○		○
一般入試	学部成績		○	○		○	○
	筆記試験		◎				
	面接（口述試験を含む）（専門力）		◎				
	面接（口述試験を含む）			○			
	面接				○		○
	TOEIC等のスコア					○	
外国人留学生入試	面接（口述試験を含む）		◎	○		○	
	面接				○		○

**長崎大学大学院工学研究科博士課程（5年一貫制）
グリーンシステム創成科学専攻における経済支援について**

グリーンシステム創成科学専攻では、本専攻に在学する学生が海外研究機関に滞在し、研究するため（「学外研究」科目）の経済的援助（学外研究奨学金の給付）を行います。

学外研究奨学金は、長崎大学大学院工学研究科グリーンシステム創成科学専攻学外研究奨学金に関する内規に基づいて給付するものとし、専攻会議において学外研究奨学金の給付に係る審議を経た後、受給者を決定します。

外国人留学生入試

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
グリーンシステム創成科学専攻	次世代エネルギーシステム創成コース	若干人
	先端機能物質創製コース	

2. 出願資格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (5) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに22歳に達するもの（「3. 出願資格審査」参照）

3. 出願資格審査

- (1) 出願資格(5)で出願する者については、事前に出願資格を審査する必要があるため、以下の書類を令和3年9月17日（金）までに、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）へ提出すること。

提出書類	備考
卒業（見込）証明書	出身学校長が作成したもの
成績証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの
事前審査申請書	本研究科所定の様式
入学願書	本研究科所定の様式
研究歴証明書	本研究科所定の様式に、機関の長が証明したもの
研究内容要旨	本研究科所定の様式
出願資格審査結果返送用封筒 〔長形3号（12cm×23.5cm）〕	志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記のうえ、374円分の切手（速達）を貼付したもの

※本研究科所定の様式は、長崎大学大学院工学研究科ホームページからダウンロードすること。
（アドレス：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/english/contents/01_g_admission.html）

- (2) 出願資格の審査結果については、令和3年10月14日（木）に本人宛に発送する。
 なお、出願資格有と認定された者は、「4. 出願期間」及び「5. 出願手続」により手続を行うこと。

4. 出願期間

令和3年10月26日（火）から令和3年11月1日（月）まで

- (1) 郵送する場合は必ず書留速達とし、11月1日（月）までに必着すること。

郵送先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）

- (2) 志願者が出願書類等を持参する場合は、9:00 から 17:00 まで受け付ける（土日を除く）。

5. 出願手続

志願者は、以下の手続書類等を、所定の期日までに長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）へ提出すること。

※ 本研究科所定の様式は、長崎大学大学院工学研究科ホームページからダウンロードすること。
 （アドレス：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/english/contents/01_g_admission.html）

※ 検定料の「振込書」及び「住所シール」は、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）にて受け取ること。窓口に来ることができない場合は、「16. その他」により郵送で請求すること。

手続書類等	備考
入学願書 （本研究科所定の様式）	予め主たる指導を希望する教員と面談を行ったうえ、入学願書に指導予定教員名（「教員・研究内容一覧」参照）を記入すること。 （出願資格審査時に提出した者は不要）
写真票・受験票・ 検定料納付証明書貼付票 （本研究科所定の様式）	
卒業（見込）証明書	出身学校長が作成したもの （出願資格審査時に提出した者は不要） なお、出願資格（4）に該当する者で、当該証明書に学士の学位に相当する学位を授与されたことが記載されていない場合は、別途、学位授与証明書を提出すること。
成績証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの （出願資格審査時に提出した者は不要）
在留資格を証明するもの（写）	在留カード又は旅券（入国査証（VISA）の確認ができる部分）の写しを提出すること。
該 当 者 の み	「TOEIC® Listening & Reading Test 公開テスト」または「TOEFL iBT®」のいずれかの成績証明書（原本）
	試験日から過去3年以内に受験したものに限る。成績証明書は、受験票を送付する際に同封して返却する。ただし、出願時に左記のいずれかの成績証明書の提出が間に合わない場合又は出願時に提出した証明書類の他に新たに受験したテストの証明書類が提出できる場合には、試験前日の正午までに大学院係へ提出すること。

<p>検定料 (30,000 円)</p>	<p>《 振込期間 》 令和 3 年 10 月 26 日 (火) から令和 3 年 11 月 1 日 (月) まで</p> <p>《 振込場所 》 各種銀行の受付窓口 (ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。)</p> <p>《 振込方法 》 振込時に別途必要な振込手数料は、入学志願者本人の負担となる。 「振込書」の※欄に、入学志願者の住所・氏名 (フリガナ) 及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認すること。</p> <p>《 出願に際しての留意事項 》 検定料が振り込まれていない場合、振込済の「検定料納付証明書」を検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合、及び「検定料納付証明書」に取扱銀行収納印が押印されていない場合は出願を受理しない。 検定料を最終日に振り込む場合は、その後、当日 17:00 までに出願書類一式を提出しなければならないので注意すること。(銀行の営業日、時間等を十分考慮して手続きを行うこと。) 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった (出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。 なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から 14 日以内とする。 [返還に関する問い合わせ先] 長崎大学管理運営部経理調達課資金管理班 (TEL 095-819-2060)</p> <p>※ 日本政府 (文部科学省) 国費外国人留学生は不要である。 ※ 令和 2 年 7 月豪雨、令和元年台風第 19 号、北海道胆振東部地震、平成 30 年 7 月豪雨、熊本地震又は東日本大震災で被災された志願者には検定料免除の特別措置を行うので、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係 (工学研究科) (095-819-2491) へ連絡すること。なお、詳細については、本学ホームページにも掲載している。 (http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/support/index.html)</p>
<p>住所シール</p>	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記すること。なお、出願後に変更があった場合は、直ちに長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係 (工学研究科) へ届け出ること。</p>
<p>受験票返送用封筒 〔長形 3 号 (12cm×23.5cm)〕</p>	<p>志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記のうえ、374 円分の切手 (速達) を貼付したもの。</p>

6. 出願に関する注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めない。
- (2) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しない。

7. 選抜方法

面接及び口述試験の成績により入学者を選抜する。

(1) 試験日時

令和3年11月16日(火) 10:00～

※インターネット入試の場合は、時差を考慮して開始時間を調整する。

(2) 合否判定基準

面接及び口述試験の成績を次の方法で評価し、得点の高い順に合格者を決定する。ただし、得点が60点以上の者を対象とする。

【評価方法】

複数の面接員による個人面接形式で行う。下記項目①及び②の合計で100点満点の採点を行う。

① 出願書類を参考にして面接を行い、志望動機、勉学意欲、一般知識及び社会性を総合的に評価する(配点30点)。

② 次の(a)及び(b)の方法で口述試験を行い、基礎学力及び専門知識等について総合的に評価する(配点70点)。

(a) 基礎学力については、英語及び数学等の基本的な学力を評価する。

なお、英語の基礎学力として「TOEIC® Listening & Reading Test 公開テスト」または「TOEFL iBT®」のいずれかの成績を参考にするが、これらの成績証明書の提出がない場合は、英語の基礎学力に関する口頭試問を行う。

※ これらの成績証明書は試験日から過去3年以内に受験したものに限る。

※ これらの成績証明書の原本は出願時に提出すること。

(b) 専門知識については、力学、熱力学、連続体力学、電磁気学、電気回路、有機化学、無機化学、物理化学、金属材料工学、セラミック材料工学、高分子材料工学等の中から志願者の専門を考慮して試問を行い、専門分野の基礎科目に関する知識を評価する。

(3) インターネットを利用した入試

外国人留学生入試については、インターネットを利用した面接及び口述試験を実施する場合がある。希望する場合は、出願期間開始日の一ヶ月前までに指導予定教員へ履歴書と希望する研究内容を提出の上連絡し、十分に打合せを行うこと。

8. 試験場

長崎大学大学院工学研究科 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

9. 受験上の注意事項

(1) 試験前日の午後、工学研究科掲示板に試験当日の集合場所を掲示するので、集合場所を確認すること。(ただし、入室はできない。)

(2) 受験者は、本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。

(3) 試験開始20分前(9:40)までに、所定の集合場所に入室すること。

(試験開始(10:00)後の遅刻者は受験を認めない。)

- (4) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (6) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は、試験日を延期することがある。
- (7) 原則として追試験は実施しないが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては実施する場合がある。また、不測の事態が生じた場合、再試験を実施することがある。

10. 合格者発表

令和3年12月3日（金） 10:00

※ 工学研究科掲示板に発表するとともに、同日、合格者に対し合格通知書を発送する。

※ 同日10:00以降、長崎大学大学院工学研究科ホームページに合格者を掲載する。

（アドレス：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/english/contents/01_g_admission.html）

※ 電話による可否の問い合わせには一切応じない。

11. 入学手続等

合格した者は、次により入学手続を行うこと。詳細については、令和4年1月中旬頃に別途通知する。

(1) 手続期間

令和4年2月7日（月）～令和4年2月9日（水） [受付時間 9:00～17:00]

(2) 納付金の納入

・入学料 282,000 円

（注）既納の入学料は返還しない。

[参考]

- ① 令和3年度授業料（年額）：535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）
- ② 授業料の納入時期は、前期分4月，後期分10月になる。
- ③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- ④ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。（詳細は、入学手続関係書類に同封する。）
- ⑤ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料及び授業料は不要である。

12. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- (2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用する。
- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- (4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

13. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和3年10月15日（金）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）と相談すること。なお、入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。また、事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- (1) 入試の区分
- (2) 障がいの種類・程度
- (3) 受験上の配慮を希望する事項
- (4) 修学上の配慮を希望する事項
- (5) 出身大学等でとられていた配慮
- (6) 日常生活の状態
- (7) 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

14. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については各専攻まで問い合わせること。

15. 新型コロナウイルスに関する対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、試験日を延期する場合や選抜方法等を変更（面接をWebにより実施するなど）する場合及び追試験を実施する場合があるので、これらのことに留意したうえで出願すること。

なお、試験日の延期等については、長崎大学大学院工学研究科ホームページ等で周知する。

「工学研究科ホームページ」→「入試情報」→「大学院入試」

（アドレス http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/01_02_g_nyushi.html）

16. その他

- (1) 入学者の希望により、所属コースを決定する。
- (2) 出願書類のうち検定料の「振込書」及び「住所シール」を郵送により請求する場合は、郵便番号、住所及び氏名を明記し、120円分の切手を貼った返送用封筒（角形2号 24cm×33cm）を同封のうえ、請求封筒の表に「工学研究科博士課程（5年一貫制）出願書類請求」と朱書きし、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）あてに請求すること。その際は、連絡先の電話番号等を記載したメモを同封すること。

請 求 先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）

ディプロマ・ポリシー
カリキュラム・ポリシー
教員・研究内容一覧

ディプロマ・ポリシー

5年以上在学して[1]，所定の教育プログラムに定められた単位（45単位以上）を修得し，

- ・ 高度な専門的・学際的知識を修得し，専門知識は国内外の研究を俯瞰した総説を正しく執筆できるレベルにある。
- ・ 国際的視野に基づいた創造的・先導的な研究を主体的に推進できる能力を身につけている。
- ・ 国際性ある研究者としてスタートアップできるレベルの英語コミュニケーション能力，英語論文作成力を身につけている。
- ・ 高度研究者として，世界レベルの研究倫理，国際学会で口頭講演できるプレゼンテーション能力，卒業研究学生を指導できるレベルの研究指導力を身につけ，実践できる能力がある。

と認められ，提出した博士論文が，学位審査基準[2]を満たし，最終試験（上記の上から2つの項目について評価するもの）に合格した者に対し，博士（工学）の学位を授与する。

[1]：優れた研究業績を上げた者については，在学期間は3年以上あれば足りるものとする。

[2]：工学に関するものであって，世界レベルの博士論文として，新規性・独創性・普遍性・論証性の高い学術的価値を有していること。また，博士論文の適合性として，提出された論文に，審査制度が確立された学術雑誌に掲載又は掲載が決定された原著論文が3編以上含まれていること（ただし，博士課程（5年一貫制）入学後に投稿された原著論文を2編以上含むことを要し，審査制度の確立された学術雑誌に掲載の可否を審査中である原著論文を1編含むことができる）。

また，2年次末以降に行われる中間評価に合格し，かつ中間評価と同時またはその後に退学届と修士論文を提出し，審査を受けて学位論文と認められ，最終試験に合格した単位修得退学者に対しては，修士（工学）の学位を授与する。提出した論文が，工学に関するものであって，新規性・独創性・普遍性・論証性の学術的価値を有しているものであること。

カリキュラム・ポリシー

次世代エネルギーシステム創成コースと先端機能物質創製コースの2つのコースからなる5年一貫制カリキュラムによる継続的・計画的な指導を行い、修了後には国際的アカデミアで活躍できる研究者として活躍できる実力を、以下のように涵養します。

- ・英語・国際実践科目で、英語コミュニケーション能力、英語論文作成力、英語プレゼンテーション能力、国際的研究者としての実践力を修得します。そのため、著名な研究者の英語講演聴講と議論、国際学会での発表と実地指導を受けることを義務づけています。学修の到達度は、科目の内容に応じ、レポート、口頭試問、筆記試験、プレゼンテーション、ディスカッションを通じて評価します。
- ・研究者養成実践科目で、国際的アカデミアで活躍できる研究者としての創造的・先導的な実践研究能力として、世界レベルの研究倫理、グローバルなグリーンシステム科学先進性、課題発見・探求能力、研究・マネジメント能力、研究指導力を修得します。そのため、国内外の研究を俯瞰した総説の執筆と発表、国際的研究機関（海外大学等）での研究を義務づけています。学修の到達度は、科目の内容に応じ、レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、総説の採点などを通じて評価します。
- ・高度基礎科目で、俯瞰的視野に立って、広範な分野にわたるグリーンシステム科学に関する知識を修得するための高い基礎的学力を涵養します。このため、特定の科学技術分野に偏らない内容の、演習も取り入れた座学講義で実力を養います。学修の到達度は、科目の内容に応じ、レポート、筆記試験、プレゼンテーション、ディスカッション等を通じて評価します。
- ・先端技術科目の演習科目で、国際的視野に基づいた創造的・先導的な研究を主体的に推進できる能力を、研究室での研究活動、セミナー、討論を通じて修得します。学修の到達度は、科目の内容に応じ、レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどを通じて評価します。
- ・次世代エネルギーシステム創成コースの先端技術科目で、社会の持続的発展に寄与するエネルギーの発生・有効利用に関連したデバイス・システム等に関する深い専門知識と高度専門技術を、演習も取り入れた座学講義で学びます。学修の到達度は、科目の内容に応じ、レポート、筆記試験、プレゼンテーション、ディスカッション等を通じて評価します。
- ・先端機能物質創製コースの先端技術科目で、社会の持続的発展に寄与するエネルギーの発生・有効利用に関連した高機能物質のサイエンスと、物質創製・応用の高度専門技術を、演習も取り入れた座学講義で学びます。学修の到達度は、科目の内容に応じ、レポート、筆記試験、プレゼンテーション、ディスカッション等を通じて評価します。

科目に関する別表（グリーンシステム創成科学専攻）

科目等 資質等	英語・国際 実践科目	研究者養成 実践科目	先端技術科目の 演習	高度基礎科目	次世代エネル ギーシステム 創成コースの 先端技術科目 (演習以外)	先端機能物質創 製コースの先端 技術科目 (演習以外)
高度な専門 的・学際的知 識の修得		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ スーパーコン ピューターシ ョン特論		エネルギー変 換特論 先端エネルギ ーデバイス特 論 ナノテクノロ ジー特論 数理解析学特 論 環境・エネルギ ー特論 先端機能材料 特論 海洋開発産業 概論	電気エネルギ ー・制御特論 先端デバイス 組織学特論 先端固体力学 特論 冷凍空調工学 特論 電気エネルギ ー機器特論 電力変換器制 御特論 蓄電デバイス 材料特論 熱流体エネル ギー変換特論 先端破壊解析 学特論 先端デバイス 物性学特論 材料解析学特 論	先端電子材料特 論 高分子材料学特 論 機能性錯体化学 特論 有機合成反応設 計学 超精密機械特論 高効率合成化学 特論 分子変換反応特 論 グリーンマグネ ティクス特論 分子組織場設計 特論 先端機械設計特 論 先進センシング 科学特論 先端高分子材料 学特論
国際的視野 の研究能力	国際セミナーⅠ 国際セミナーⅡ 国際セミナーⅢ	学外研究	エネルギーシ ステム特別演習Ⅰ エネルギーシ ステム特別演習Ⅱ 物質創製特別演 習Ⅰ 物質創製特別演 習Ⅱ			
国際性ある 研究者とし ての英語力	国際セミナーⅠ 国際セミナーⅡ 国際セミナーⅢ 実践英語講座Ⅰ 実践英語講座Ⅱ 国際会議プレゼ ン講座Ⅰ 国際会議プレゼ ン講座Ⅱ 研究英語コミュ ニケーション講 座	学外研究				
倫理観、プレ ゼンテーシ ョン能力、研 究指導力、実 践力	研究英語コミュ ニケーション講 座	研究者倫理 知財戦略 リサーチプロ ポーザル 研究指導実践 演習 学外研究	エネルギーシ ステム特別演習Ⅰ エネルギーシ ステム特別演習Ⅱ 物質創製特別演 習Ⅰ 物質創製特別演 習Ⅱ			

主として養われる能力

教員・研究内容一覧

コース	教員名	職名	研究内容
次世代エネルギーシステム創成コース	近藤 智恵子	教授	環境負荷の小さい高性能ヒートポンプおよび冷却デバイスの開発
	才本 明秀	教授	固体における破壊現象の予測と工学的応用
	森口 勇	教授	ナノ構造制御による蓄電デバイス材料の開発
	山下 敬彦	教授	エネルギー輸送・変換システムの信頼性と絶縁設計
	大貝 猛	准教授	電析法を利用した機能性金属材料の創製
	浜崎 真一	准教授	電力系統連系のための電力変換器システムの制御と応用
	森村 隆夫	准教授	熱電エネルギー変換材料の開発と構造解析
先端機能物質創製コース	木村 正成	教授	高効率有機合成反応の開発と機能性物質の革新的合成
	相楽 隆正	教授	エネルギー変換場としての電極界面と分子組織の設計
	清水 康博	教授	機能性セラミックス材料の設計・制御と応用
	中谷 久之	教授	高分子の劣化・生分解化
	中野 正基	教授	電子機器用磁性材料の開発
	矢澤 孝哲	教授	高機能材料の加工・計測
	有川 康弘	准教授	遷移金属錯体による小分子の活性化
	Bun Chan	助教	Application and development of computational quantum chemistry

長崎大学大学院工学研究科における入試成績の開示について

本研究科では、令和4年度入試の成績を、受験者本人からの請求により開示する。

1. 請求期間

入試区分等	請求期間
推薦入試	令和3年7月14日(水)～令和3年8月3日(火)
一般入試	令和3年8月20日(金)～令和3年9月9日(木)
外国人留学生入試	令和3年12月3日(金)～令和3年12月23日(木)

※ 郵送必着

※ 窓口請求は、9:00から17:00まで受け付ける。ただし、土日・祝日を除く。

2. 請求者

受験者本人に限る。

3. 請求方法

【窓口の場合】

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）の窓口にて、本研究科受験票を提示のうえ、「入試成績開示請求書」（別紙1）を提出すること。

書類を受理した日から14日以内に窓口で「入試成績表」を交付する。（受け取りの際、本研究科受験票を持参すること。）

【郵送の場合】

次の書類を下記請求先に郵送すること。

書類を受理した日から14日以内に簡易書留郵便で「入試成績表」を送付する。

- ① 入試成績開示請求書（別紙1）
- ② 本研究科受験票（「入試成績表」送付時に返却する。）
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手404円分を貼ったもの。）

※ 請求先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）

（TEL：095-819-2491）

4. 開示内容

請求者が受験した科目の総得点を開示する

(別紙1)
年 月 日

入 試 成 績 開 示 請 求 書

工 学 研 究 科 長 殿

ふりがな
請求者氏名 _____ 印

令和3年10月及び令和4年度入試における成績について、下記のとおり開示を請求します。

課程 専攻	博士前期課程 総合工学専攻	博士後期課程 生産システム工学専攻	博士課程（5年一貫制） グリーンシステム創成科学専攻
コース	コース	コース	
入試区分	<p>【令和3年10月入学】</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試（夏期募集）</p> <p><国際水環境工学コース></p> <p><input type="checkbox"/>一般入試（6月期募集）</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試（6月期募集）</p> <p>【令和4年4月入学】</p> <p><input type="checkbox"/>推薦入試</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試（夏期募集）</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試（冬期募集）</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試（冬期募集）</p>	<p>【令和3年10月入学・進学】</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試</p> <p><input type="checkbox"/>社会人入試</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試</p> <p><input type="checkbox"/>進学者選考</p> <p>【令和4年4月入学・進学】</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試</p> <p><input type="checkbox"/>社会人入試</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試</p> <p><input type="checkbox"/>進学者選考</p>	<p><input type="checkbox"/>推薦入試</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試</p>
受験番号			
請求者 連絡先	〒 _____ (TEL) _____		

※「入試区分」の該当する□欄に✓をしてください。